



# 学校だより



令和3年度第14号（令和3年10月6日発行）

暑かった夏が終わり、幼稚部の子供たちがトンボを追いかけたり、小学部の子供たちがバッタやコオロギを見つけたりするなど、少しずつ秋の訪れを感じるようになりました。

『〇〇の秋』として例えられることが多い秋ですが、みなさんにとって秋はどのようなイメージでしょうか。「スポーツの秋」「読書の秋」「紅葉の秋」「勉強の秋」「芸術の秋」「収穫の秋」「食欲の秋」「味覚の秋」「実りの秋」…。

爽やかな風が吹いて過ごしやすい秋は、様々なことに集中したり挑戦したりするのによい季節です。秋だからこそできる何かを見つけてほしいと思います。

また、給食ではイワシやサツマイモなど旬のものを味わっています。おいしいものがたくさん収穫できる季節です。ぜひ秋の味覚を楽しみましょう。

さらに、現代人は空を見上げる機会が少ないと言われていいますから、夜空を見上げ、月や星を見ることも秋の夜長を楽しむ方法です。

コロナ禍だからこそ、嬉しいことや楽しいことを見つけて、幸せを自分のものにしましょう。海外や日本の経営者、企業において、「Well-being（ウェルビーイング）」の関心が高まっています。Well-being（ウェルビーイング）とは、「持続的な幸せ」のことで、満足した生活を送れている状態、幸福で充実した状態をいいます。これを実現するためには、一人一人の気持ちのもち方も大切になります。みなさんが感じた嬉しい気持ちや幸せな気持ちを、まずは身近な人におすそ分けして、幸せをつないでいきましょう！

緊急事態宣言発令から一月以上行動を自粛しながら過ごしてきましたが、10月から緊急事態宣言が解除となり、人の動きが徐々に活発になってきました。

本校は、県教育委員会の通知に基づきこれまでどおり感染対策の徹底を継続し、安全・安心に努めながら教育活動の実施形態等を工夫しています。この後、第6波が来るのではないかとされておりまだまだ油断はできません。今後も感染状況によっては、学校行事等の延期や中止の判断をする場合があるということを御理解いただき、感染防止等の御協力をお願いします。心配なことは遠慮なくご相談ください。

